

諫早市ボラ連だより

ボラ連『広報研修』の開催！



11月21日(火)諫早市社会福祉会館で、『伝わる、動く、魅力的な情報発信』をテーマに広報誌作成講座が開催されました。参加者14名で、県民ボランティア活動支援センター松尾博之氏を講師にボラ連岩永理事の司会の下、研修を進めることができました。

松尾氏の講義の後、参加者は3班に分かれてグループワークを行いました。「情報発信の目的」、「情報伝達の流れ」を議論する過程で、ワーク1=「団体の使命とビジョン」、ワーク2=「この先やるべきこと」、ワーク3=「団体が求めている支援」、ワーク4=「自分たちはどのような団体なのか」、ワーク5=「誰に何を伝えたいのか」を論点に議論を深めました。各グループ内での熱心な話し合いを経て、求められた結論を発表し、参加者全員で議論し、講師の講評・助言がありました。

日頃接触が少ない人とも、提示されたテーマを共に考え、議論を深められたことが非常に有意義でした。また、今回の研修で、自分の団体をよく理解すること、特に「使命」と「ビジョン」を団体内でよく再認識・共有することが、良い広報誌の作成、的確な情報発信につながることはもちろん、自分たちの通常の活動の充実・活性化の基盤になると感じました。今後も多くのボランティア活動者が交流し、学び、研鑽を深める機会を作りたいと思います。

❖第2回代表者会議を開催しました！

12月12日(火)、第2回代表者会議が開催され、パネル展 in 図書館・ボランティアフェスティバル(通称「ボラフェス」)・パネル展 in 社会福祉大会について協議しました。

二つのパネル展につきましては各団体から展示と片付け、また、輪つなぎの飾りを持ち帰っての制作などのご協力を受け、当日に向けての準備が整いました。

ボラフェスにつきましては、「交流と体験」を行うことで諫早市民の皆様幅広く知って頂くと共に、ボランティア連絡協議会会員の相互理解を深めようと、場所をホームグラウンドの社会福祉会館に移しての開催を決定いたしました。また、今年はキッチンカーの出店も協議の上決定しました。昨年同様、実行委員会を設置し、更に各団体の方々からのご協力を受け、まさに「体験と交流」を図れるような協議ができました。



パネル展 in 図書館 and 社会福祉大会



諫早図書館でのパネル展



文化会館でのパネル展

諫早市ボランティア連絡協議会(以下「ボラ連」)のパネル展を令和5年12月22日(金)～12月26日(火)に諫早図書館の1F 展示ホールで、また 令和6年1月18日に文化会館1F 展示ホールで実施しました。諫早図書館では今回は受付を置かず、来館された方に自由に見ていただく様にしましたので来場された人数が把握できませんでしたが、開館中の様子では来場者は多くなかったものの、非常に熱心に見ていただいている方を見かけましたので、諫早市のボランティア活動に関心を持って頂くのに役に立ったように思います。

文化会館では当日諫早市社会福祉協議会主催で「諫早市社会福祉大会」が実施され、それに合わせて「ボラ連のパネル展」「ナイスハートバザール」「諫早市地域包括ケア推進課のパネル展」が実施されました。「諫早市社会福祉大会」は諫早市の福祉関係者(地区社協関係者、民生委員、ボランティア等)約600名が参加される大きな大会であり、大会の前後及び休憩時間に多くの方がパネル展会場に来て頂きました。ボラ連のパネル展はボラ連に加入している団体のメンバーが他の団体の活動に関心を持ち、知り合いに口伝てで広める目的もあります。来場者の方には加入する団体のメンバーも多かったと思われ、ボラ連の活動及び参加団体の色々な活動を広く知って頂くために、大いに役に立ったものと思います。

ボラ連加入へのお誘い!!

諫早ボラ連は、団体加入です。現在53団体が加入しています。他のボランティア団体との交流をしてみませんか。

会費 1団体 1,000円/年

申込・お問い合わせ ボラ連事務局

☎ 24-5100(諫早市社協内)

【編集後記】

「広報研修」「第2回代表者会議」では多くのボランティア活動者と対話ができ良かった。「パネル展」多くの人達が熱心に見てくれて良かった。これらの事前準備に多くの人と共に携われて良かった。今後もこのようなイベントに取り組みたい。(村瀬 弘幸)